

積層型全固体電池のナノ粒子プロセス

機能性材料への付加価値

MLCC 技術を活用した酸化物系固体電解質材料の微粒子化、合成、薄層・多積層化、一般焼成にナノヴェイタを用いることでの付加価値を紹介します。

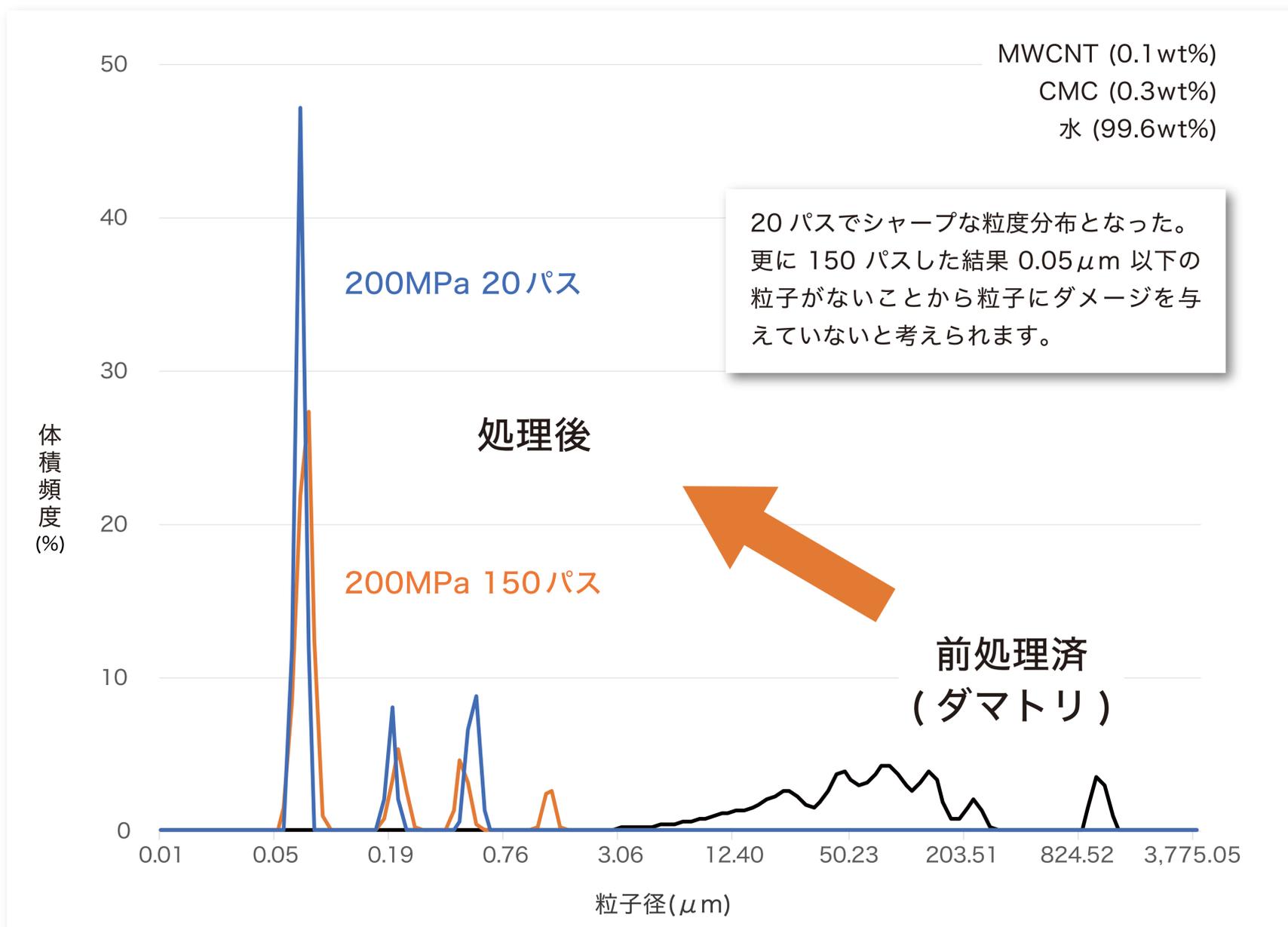
機能性向上には、固体電解質層を薄膜層化する必要があります。

薄膜シートを作成する為には、原料は微粒子かつシャープなピークの粒度分布が求められます。

バッテリーで使用される機能性材料の 1 つにカーボンナノチューブがあります。

粒子の形状を保ち長さを均一に分散することでネットワークを構築し薄膜化を可能にすることで導電性の向上、助剤の低減が可能となります。

ナノヴェイタによるカーボンナノチューブの分散例



ナノヴェイタは、薄膜化と導電性の向上を可能とし、電池の積層化や超小型化が可能なナノ粒子プロセスであると考えられます。